

野田市健康づくり計画(素案)に対する意見募集の結果について

パブリック・コメント手続によって寄せられた意見と市の考え方は、次のとおりです。

1 政策等の題名

野田市健康づくり計画(素案)

2 意見の募集期間

令和7年1月10日(金曜日)から令和7年2月10日(月曜日)まで

3 意見の募集結果

① 提出者数・意見数	3人	3件
② 提出方法	Eメール	2人
	郵送	1人
③ 政策等に反映した意見		0件

4 意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
P. 25～29 (2) 身体活動・運動			
1	健康づくりに、市民プールは不可欠であると考えます。 野田市総合公園水泳場跡地に「温水プール」を新たに作る計画があると思いますが、排熱利用の温水プールにした方が運営費用が削減でき、サステナブルです。 清掃工場を改修すると聞いているので、この近くに排熱利用の温水プールを作ったらどうでしょうか。 または、清水公園付近に清掃工場を移転して、温水プール＋清掃工場としていただいてもよい。	総合公園水泳場跡地の室内温水プールについては、市民の皆さまから早期整備を望む声をいただいていることから、将来的に学校の水泳授業を実施することも視野に入れたプールを軸に整備の検討をしており、建設費やその後の維持管理費用の削減を図るべく、PFI等の民間活力導入可能性調査を実施しております。 清掃工場の排熱を利用した温水プールとの意見をいただきましたが、清掃工場については、市内建設や広域処理、さらに現施設の長寿命化など、あらゆる方向性を探っており、現実的な計画にはまだ時間を要することから、現段階においては、排熱利用の温水プールや清掃工場を清水公園に移転することは、予定しておりません。	なし

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
P. 25～29 (2) 身体活動・運動			
2	こどもがスポーツとして体を動かす事は大切だが、それだけが運動不足の解消になるわけではないと考えます。 様々な遊具で楽しみながら体を動かし、運動不足の解消になる公園をつくってほしい。 自然を生かした長い滑り台やふわふわドームという大型トランポリンのような遊具を設置したり…そのような場所こそ運動不足解消のために必要です。 新たに整備するとなると、時間もかかってしまうので、木野崎スポーツにふわふわドームを設置する、高いところから滑れる遊具を増やす、芝滑りできるようにする等、公園に行く機会が増えれば体を動かすことに繋がるはずです。	市内の公園の遊具については、いずれも整備後20年から30年が経過し、老朽化が進んでいる状況となっており、子供たちの安全を第一に考え、修繕等に係る長期的な計画を策定するとともに、子供たちに安全に使用してもらうため、更新等の検討を進めております。 新たな遊具については、スポーツ公園に限らず市内の公園内に遊具が作れるスペースなどを確認しながら設置や更新の検討をしております。 また、令和4年度、清水地先約9,000㎡の敷地に、のだしこども館 supported by kikkomanを整備し、多くのこどもたちに「遊び」「学び」の場、体力増進の場を提供しております。 室内では、ボルダリングウォールやトランポリンなど、屋外ではターザンロープやクライムステーションが運動の機会として遊べる遊具となっており、また自然の傾斜と天然芝を利用した芝滑り場を整備予定です。	なし
P. 25 (2) 身体活動・運動			
3	健康・スポーツアプリの導入は市民の健康増進に対する意識向上に寄与するもので期待しています。	新たに、3月10日より「のだ健康・スポーツアプリ」の運用を開始しました。ご期待に沿えるよう、多くの方に利用されるようアプリのPRに努めてまいります。	なし